

B-1 単元計画

時間	目標 (○) と学習内容 (◎)	観点	評価規準	活用力をはぐくむための学習活動
1	○ 邑知地区に関する様々な事象に気づき、関心を持つようにする。 ◎ 身近な地域の特色について考える。	①	① 身近な地域の地理的事象について関心をもって話し合っている。	
2	○ 野外観察の方法をつかむとともに、邑知地区の地形図を使い、縮尺や等高線の見方を身につける。 ◎ 野外観察の方法を習得するとともに、縮尺や等高線の見方について理解する。	④	④ 縮尺や等高線、地図記号などの地図の活用方法について理解することができる。	
3	○ 身近な地域の地形図を用いて、地図記号や土地利用などの地図情報を読み取ることができる。 ◎ 邑知地区の地形図を使い、邑知地区の地理的情報を読み取る。	③	③ 地図記号などから、邑知地区の地図情報を読み取り、地理的事象に気づいている。	問題意識をもって、邑知地区の地図を読み取り、興味のある地理的事象についてまとめる。【①・④】
4	○ 調べてみたいことをグループで話し合い、テーマを決める。テーマに沿って仮説を立てる。 ◎ 調査テーマを決めて、仮説を立てる。	②	② 邑知地区の地理的事象をもとに、適切な課題を設定している。	課題を設定し、新旧の地形図から読み取った違いについて、自分の経験や知識を活かし、仮説を立てる。【④・⑥】
5	○ 仮説をもとに、調査方法や調査の見通しをもつ。 ◎ 調査テーマをもとに、見通しを立てる。	②	② 仮説をもとに、調査方法や調査の見通しをもっている。	
6 7	○ 効果的な方法を選択して、意欲的に地域調査に取り組むことができる。 ◎ 文献調査、家族の話、インターネットなどを用いて資料収集を行う。	④	④ 邑知地区の地理的特色をとらえる視点や調査の方法を理解し、その知識を身につけている。	
8	○ 調査結果を整理して、結論をまとめることができる。 ◎ 調査結果をもとに、グループごとに整理・分析してまとめる。	③	③ 邑知地区の地理的事象から見いだした課題をもとに身近な地域の特色をとらえ、地域の発展について考えようとしている。	調査結果を整理し、事実をもとにして自分の考えをまとめ、発表の準備を行う。【②・⑥】
9	○ 意欲的に発表の準備を行うことができる。 ◎ 調査結果を地図や図表に表して、整理し、発表の準備をする。	①	① 身近な地域の地理的事象から見いだした課題をもとに、地域的特色を発表するための工夫をしている。	
10	○ 調査の動機と目的、調査経過と内容、分析と調査結果が明確にわかるようにまとめ、発表することができる。 ◎ 調査結果の発表会を行う。	③	③ 邑知地区の地域的特色について、考察した過程や結果をわかりやすく発表している。	
11	○ 観察や地域調査の結果をもとに、邑知地区の課題や将来像について考える。 ◎ 邑知地区の将来像について話し合う。	②	② 邑知地区の課題や将来像について、根拠や視点を明確にして考察している。	学習してきたことをもとに、邑知地区の課題や将来像について考察する。【②・⑥】

